



河南総政第 2 号  
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 殿

大阪府南河内郡河南町  
町長 武田 勝彦



## ど り い む 道 里 移 夢

～道（道路空間）が育む、里（都市近郊の田園空間）  
との交流（移動）への“夢”の実現に向けて～

このたびの道路特定財源の見直しについての市町村長へのアンケート・意見聴取が行われたことに対しまして、普段こうした意見や要望を申し上げる機会が殆どありませんでしたので、非常にありがたい事だと感謝申し上げます。

つきましては、以下にその思いを申し述べさせていただきます。

町内の代表的な組織にてヒアリング・ご要望を受け、併せて私の願いとさせていただきます。

### 【大阪芸術大学にて】

大阪芸術大学は今や＜世界の芸大＞となりつつあります。

例えば

- ① 昨年はモーツァルト生誕 250 周年でオーストリアとの交流を一段と進められました。
- ② 今年 8 月 25 日開幕の世界陸上のキャラクターの「トラッフィー」君は芸大学生の作品です。
- ③ 昨年、高円宮妃殿下の愛や自然保護そして教育などたくさんのテーマを併せ持ち、グリーンランドから南極まで氷山が大航海をするという壮大な「冰山ルリ」の絵本をミュージカルにしたのも芸大です。  
このミュージカルは今年も各地で上演される予定と聞きます。妃殿下の芸大へのご訪問も何度も実現することでしょう。

このように大阪芸大へは国賓や世界から多くの要人がお運びになり、今後益々その頻度は高まってまいります。この方々は殆どが関空をご利用なさっています。もし関西国際空港のアクセスにおいて30分を切る事が出来ればこれらの方々のスケジュールが確実に立てられるばかりでなく、その警備においても非常に安全になるとのことです。「町長、応援しますので頑張ってください」とのことです。

### 【近つ飛鳥博物館にて】

府立近つ飛鳥博物館は、ご存知世界的建築家の安藤忠雄氏設計による大変ユニークなデザインで知られる博物館です。日本で3体しかない「修羅」、しかも9m近くの最大ものが展示されています。

平成6年3月オープン以来、全国からの来館客数も増加傾向で春秋のイベントも趣向を凝らされ、地域との融合にも力を注がれています。周辺は「近つ飛鳥風土記の丘」として3世紀からの古墳群が存在、渡来人の墓が点在しています。

町内にあることで訪問の機会も多く、イベントの開会式に招かれてはご挨拶をさせていただいています。博物館との話の中で「梅や桜」を植えていただいていることの意義やもっと来館を促すための取り組みが課題となっています。その中で私が「せっかくの渡来人のお墓が一杯あるんだから、中国や韓国から、我々の先祖でも有り、また彼らの先祖でもある墓参りにどしどし来てもらおう」と提案しています。

そのためには関空から30分で来れるよう真っ直ぐに高速を伸ばしてもらいたい。そうしたら関空が国との約束の離発着13万回も達成しやすくなるし、なによりも国際親善に寄与する。そして国内からももっと来やすくなる。博物館も大賛成であります。

### 【弘川寺にて】

古刹弘川寺は、本町大字弘川に所在し歌聖西行法師終焉の地として有名です。

「願わくは花の下にて春死なむ そのきさらぎの望月のころ」の願い通り、文治6年2月26日、73歳にて入寂されています。春の法師古墳は、吉野の桜にも引けをとらない大樹桜がみごとに花を付け、その周辺に広がる桜山は訪れる人々が思わす声をあげるほどで、誠に美しく見事です。境内の樹齢350年の「かいどう桜」は、天然記念物の指定を受けており、これもまた見事です。

また、毎年NPOや地元ボランティアの皆さんによって「弘川寺さくら

まつり」が賑やかに催されています。全国から歴史研究家、歌人、大学教授などの文化人の来訪が頻繁です。住職高志慈海氏の話では、西行法師が当時の弘川寺の座主空寂上人を訪ねて来られた時分のものと推測の秘蔵の「曼荼羅」を20年がかりで修復中とのこと。綾織の一物は大変貴重なものでそろそろ修復が完成するし、また裏千家家元から譲り受け、保管中の茶室も将来境内に建てたいとおっしゃっています。そうすると益々弘川寺の名声が上昇し、同時に本町のポテンシャルが上がり、「西行サミット」の実現が叶います。そのために都心から30分、関空から30分のアクセスは欠かせません。ご住職も望まれています。

### 【地元企業から】

本町に世界的企業が存在します。名阪真空工業(株)です。液晶のコーティングでは世界シェアを持っています。奈良県下9位の会社でありましたが2年前に本町に本社工場を移されました。本社からの東方の眺めは葛城・金剛の峰々とその麓に展開するダイナミックなパノラマが展開しており、こんなところで従業員に仕事を任せられることは経営者の冥利に尽きる、と社長はおっしゃっています。

更にアクセスがもっと良くなれば、この緑と水と空気のすばらしい本町に同社のような優秀な企業が進出を図ってくれるでしょう。環境とアクセス以外の売り物は必要ないと思います。

### 【河南町や南河内のまちづくり】

既述のように本町の北から順に「近つ飛鳥博物館」「大阪芸術大学」「弘川寺」が位置します。私はそれぞれを中心に「歴史村」「芸術村」「文化村」の展開が将来可能と思っています。

この構想を色々な機会です話をします。決して多くの自治体が事業化しているような「花火」的なものではなく、じっくり時間をかけて内面から町の魅力を高めていくべきだと思っています。また南河内の発展もそのような取り組みの上にこそ実現すると信じています。その為にもアクセスは必須条件となっています。

### 【日帰り農体験（新しい農空間の活性）】

定年後田舎暮らしをしてみたい、と思っている人達の多いことは今や周知の事実となっています。が、畑仕事をしてみたいが家から遠くては出来ないなあ、と思っている人は意外に多いのです。それが実現するのが都会

から30分圏内であります。本町や南河内に都会から30分が実現すれば、その夢が叶うでしょう。

本町や本町の周辺では農家の後継者不足や高齢化により遊休農地が増えています。(全国的な問題で、グリーンツーリズムやその他の取り組みが試されて久しいですが、思うようには進展していないようです) 都市住民との共生にトライしたいと思います。

幸い本町には「道の駅かなん」に併設して、直売所を有する農村活性化センターを立地いただいています。そこを拠点に農事組合法人の組合員らは、特産物のなすやきゅうりをはじめ「なにわ伝統野菜」の生産が盛んになってきており、その品々を求め遠くからファンが押し寄せリピーター化しています。新鮮な“かなんブランド”の農産物を食べた方々から、口々に自分たちも是非作って(栽培して)みたいと言っています。安全で新鮮なものを食べたい、自ら栽培したものを食べたいと思っておられる方が増えています。

町内の農地は、いずれも先祖から脈々と受け継いでこられた貴重な財産です。この貴重な農地が、人の手が入らず荒廃していく光景を目にするのは、農家に生まれ育った私自身も本当に心苦しいです。

何としてもかつての農空間を取り戻したい、空いた畑や田を有効に使って欲しいと痛感するしだいです。農事組合法人では、新規就農者を大いに歓迎していますし、大阪府も遊休農地を借り上げ、家庭菜園を楽しみたい住民に貸し出す制度を創設されようとしています。

農空間の活性化には、都市との交流がなくてはなりません。都市と農村を結びつけるのは、『早い道』一本であります。

### 【里山との共生・共存】

本町には里山がいっぱいあります。水資源の保全、災害防止、動物の生息、温暖化防止等々、里山の効能は数知れません。しかし人が住んで、人が入って、初めて里山になります。残念ながらNPOやボランティアの皆さんに保全をお願いしなければいけないくらい人手が足りなくなってきました。都心から応援に来てもらうにも今の交通不便ではかきません。

市内から30分を実現していただきたいと思います。

### 【関空13万回】

一兆円という巨額の国費が投入され、本年8月3日に第2滑走路が供用開始になります。新聞では国との約束13万回が達成困難とも実現可能とも報じられています。関空にも秘策のあることに違いありません。大いに

期待するところであります。

私は13万回をクリアして次の15万回、20万回に向けて発展を遂げるには伊丹との確執や新たに発生する神戸との確執を乗り越えなければならないと思います。そのためには東にエリアを伸ばすべきだと考えます。南河内の発展がキーになっていくのではないのでしょうか。そして“金剛・葛城を越えた奈良県側南部とのつながり”が大事になっていくのではないのでしょうか。京奈和道路も非常に大切ですが遠回りになっています。

今、本町から河内長野まで30分、そしてそこから1時間、計1時間半かかります。

南河内から30分の実現に期待しています。

### 【さくら100年プロジェクト（マイ・ドリーム）】

今回の意見要望に様式を問わない、なんでも思う所を書いてもらいたい、とのことですので、夢を語らせていただきます。

葛城山の西半分は本町域です。ここに町内から全面に桜を植えたいと思っています。国花と同時に本町の「町木」である桜が山を覆いつくします。日本の桜が減ってきてピンチの記事も出ています。全国で桜の植樹キャンペーンが展開されています。

私のプロジェクトは

“毎年1000本ずつ100年植えて10万本” です。

「そんなこと・・・」と皆は言います。この夢の実現には山のような課題が横たわっています。全国に賛同者がないとまず不可能です。国有林は、民地はどうする？苗木はどうする？誰が植える？親子3代どうつなげる？ボランティアも3代に亘って引き継いでもらわなくてはなりません。（ボランティアの世襲の仕組みはまだ誰も取り組んだ例がないと思いますのでこれは話題になるでしょう）ボランティアの皆さんの泊まりはどうする？最初はいいが段々山深く進んでいくときにどうする？予算ははじけるのか？思いついただけでも気が遠くなってきました。でも春になって町域が、山全体がピンクに染まっていくなら、それを見に人が大阪をどんどん南東へ移動します。何十年か経った段階で自分たちと父母や祖父母の植えた桜を確認に大移動が始まります。今町域には約6000本の桜が植わっていますのでこのプロジェクトのスタートまで数年は余裕があります。1～2年かけて計画を練っていきます。賛同者も増やしていくつもりです。

ご期待ください。そして、高規格道路（高速道路）の実現が叶うなら、緩衝緑地帯に是非桜を植えていただき、「河内さくら街道」と名づけていただきたいと願っています。

## 南河内地域に高規格道路のネットワーク化の実現を！

～道路整備中期ビジョン策定に向けて意見～

### 河南から世界へ・・・

大阪府南河内郡河南町

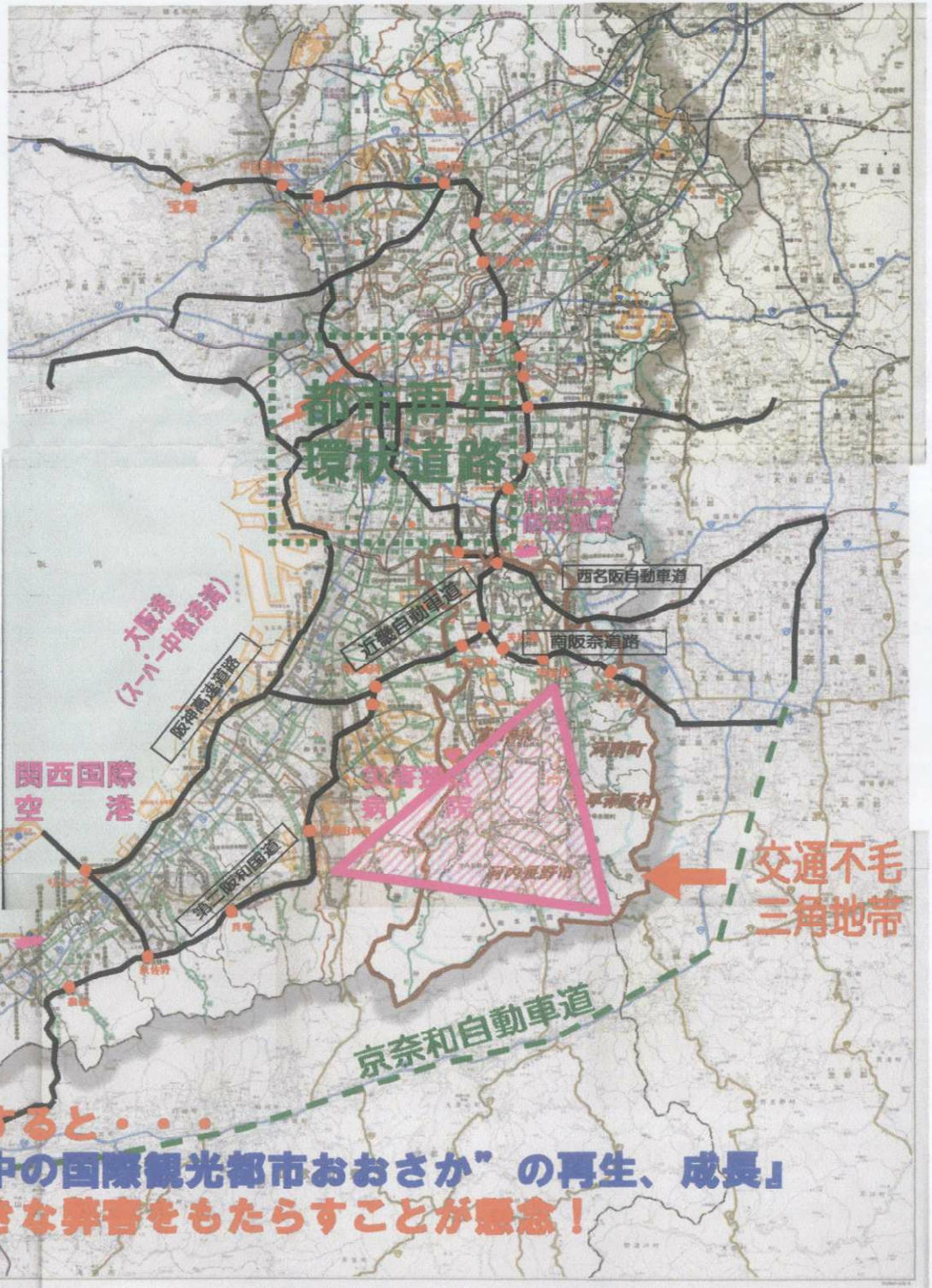
町長 武田 勝玄

★★南河内地域からの切なる願い★★★

『大阪からアジアへ』“安全安心の国際観光都市おおさか”の実現に向けて、南河内地域に高規格道路が必要です。

- 関西国際空港や大阪港（スーパー中枢港湾）への到達30分圏域化  
多様化する物流ニーズへの的確な対応を実現！【国際競争力の強化】
- 災害時救援物資輸送ルート、拠点病院への定時高速サービスを確保  
切迫する南海東南海地震から地域を守る！【安全、安心の確保】
- 観光資源ブランドを世界へ発信、国際観光都市への発展  
『ようこそ！南河内へ！』 国際交流促進 【地域活性化】

# 河南まち・みらい計画 (案)



このまま放置すると・・・  
『“アジアの中の国際観光都市おおさか”の再生、成長』  
の実現に大きな弊害をもたらすことが懸念！

# 河南まち・みらい計画（案）



## 南河内地域のすべて ～都市と農村が共生するおおさかの緑空間～

東を金剛山系、南を泉山脈、西を泉北丘陵に囲まれ、この周縁部一帯は金剛生駒紀泉国定公園に指定されており、府民の憩いや安らぎの場を提供しています。

特に金剛山は、標高約1 125mの高さを有し、日本での登山客数が年間約1 20万人と、富士山に次いで第2位に位置しています。

南河内地域のすべて  
～都市と共感し続ける歴史と文化と芸術の空間～

まちの至るところに古代・中世から引き継がれてきた近つ飛鳥風土記の丘等、大規模古墳群や神社仏閣などの歴史的建造物が現存しています。  
また、大阪大都市圏にありながら、今なお人情味豊かでおおらかな“ふるさと”と呼べる、特色ある生活圏域を形成し、伝統芸能、祭、催し物が脈々と受け継がれ人々の生活の中にも歴史が息づく、歴史・文化・芸術の厚みのある地域であります。

## 南河内地域のすべて

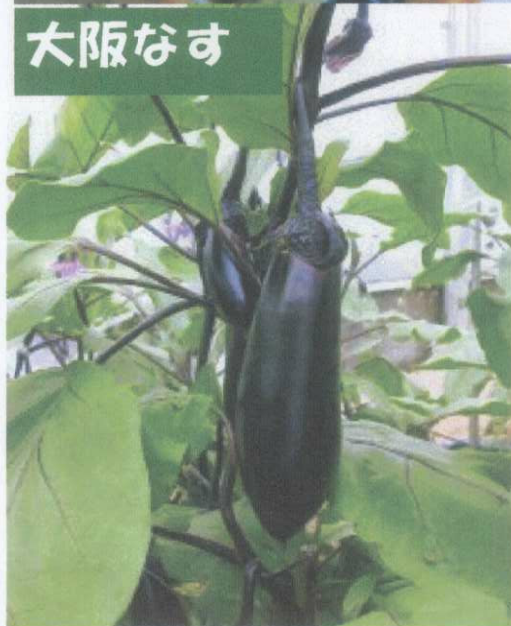
～都市近郊農業の再生・成長戦略～

「グリーンツーリズム」、「市民農園（クラインガルテン）」等、都市近郊農業の地域特性を活かした施策展開により、都市と農村の共生と交流を！

なす田楽やたまねぎたまご等の米粉パン



大阪なす



都市と農村を結ぶ交流ステーション



あかこね餅



なにわ伝統野菜



道の駅「かなん」のふれあい朝市



## 道路整備の中期計画作成に向けての 企業各社の熱い思い

●株式会社サンヨーメディカル代表取締役 奥田 洋三 様

(南河内郡河南町白木 1110-1)



### 『より良い生産技術の探求』

当社は、「より良い生産技術と品質管理の探求」を基本理念とし、カビ取り剤をはじめ家庭用洗浄剤、業務用洗浄剤、化粧品、医薬部外品の受託製造を中心に経営しております。

時流の変化が激しくなった昨今、さらにお客様に満足していただけるために、関西空港、大阪市内等の拠点施設へのアクセスが向上することは、当社にとっても望ましいことであります。

拠点施設へのアクセスが向上する高速道路整備が実現すれば、

- 地域が生活しやすい環境となり、今後の企業成長のためには必須である良い人材の確保が容易になる。
- 今後、さらに必要となってくるフレキシブルな納期対応が可能になる。
- 関西空港へのアクセスが向上すれば、アジア全域がマーケットとして身近になる。

南河内と拠点を結ぶ高速道路の整備を地域発展のために要望いたします。

## 道路整備の中期計画作成に向けての 企業各社の熱い思い

●名阪真空工業株式会社 代表取締役社長 岩本日勝 様

(大阪府南河内郡河南町神山 106-1)



1968年、樹脂への真空蒸着からスタートした当社は、その後も表面加工一筋に製品開発に取り組み、ハードコート、反射防止加工、帯電防止加工等、常に時代のニーズに答えてまいりました。その背景にはたゆまない可能性への追求と、モノづくりへの喜び、そしてなによりもお客様の満足される表情がありました。これからも常に時代を一步リードする製品開発と顧客満足をモットーに、スタッフ全員の力を結集してさらにステップアップしていきたいと考えており、そのためにも南河内地域に高速道路を作っていただき、地域の発展に寄与していきたい。

## 道路整備の中期計画作成に向けての 企業各社の熱い思い

●学校法人塚本学院 大阪芸術大学 理事長・学長・学院長 塚本邦彦 様  
(大阪府南河内郡河南町東山 469)

学生たちの可能性は、  
世界へと広がっていく。



大阪芸術大学では、アメリカ合衆国だけでなく、大韓民国（韓国）や中華人民共和国（中国）などの姉妹校との交流も活発に行っています。韓国の弘益大学校との交流は「日韓3大学デザイン・美術交流展」として実を結び、1972年の第1回実施以来、開催地を大阪、ソウルと移しながら、すでに23回を迎えるまでになりました。

また、「日中交流作品展」を過去18回共催している中国の上海大学美術学院や、アメリカのシカゴ美術大学、日中間で音楽交流を実現した中国音楽学院、韓国の慶熙大学校、中華民国の東呉大学など、姉妹校の締結をした学校も年々増えており、グローバルな学びの環境もさらに広がりを見せています。

未来を担う若者たちの広い視野を養い、その可能性を世界に広げることにより、国際的視野に立った芸術教育展開を進めていくため、関西国際空港へのアクセス性向上を切に望むものであり、南河内地域に高速道路の整備が必要と考えています。

## 道路整備の中期計画作成に向けての 企業各社の熱い思い

前進 「日本住宅産業リース株式会社 初代社長 財津 吉史 様」

●産業リーシング株式会社 代表取締役社長 根本 美智男 様

●株式会社サンリー 代表取締役社長 根本 美智男 様

大阪支店現住所 南河内郡河南町持尾 800 番地



1972年（昭和47年）の会社発足は、衆参議員の方々及び当時新日鉄副会長藤井丙午氏を発起人として設立されました。初代社長には、昭和24年建設省都市局長を最後に退官され、財団法人住宅改良開発公社理事長、都市計画協会副会長を歴任の財津吉史氏が就任。

その後、社名変更を行い、創業歴は35年に、タワークレーンのレンタルとその関連業務を専門とする技術者集団として頑張っています。

近年では、東京六本木ヒルズや湾岸・汐留地区、大阪、名古屋など多くの都市で超高層ビル、マンションの建設に携わってきました。

また、レンタル業界で初めて品質マネジメントの国際標準規格ISO9001の認証を1997年（平成9年）に取得、安全と業務に関する品質管理にはことのほか心血を注いでいます。

大阪支店として南河内郡河南町に拠点を開設以来、建設業界における社会的貢献を更に効率よく、サービスの向上を進めていくためにも、南河内地域に高速道路が必要と考えています。国土交通省の高速道路計画網の中期ビジョンから是非、南河内エリアの存続を切望するしだいです。

## 道路整備の中期計画作成に向けての 企業各社の熱い思い

● 株式会社キャットアイ 津山 晃一 様

(南河内郡河南町山城)

**「安全」、「健康」そして「環境」に新しい価値を創造する製品を  
私達といっしょに作ってみませんか。**

CATEYEでは新しい力を募集しています。



健康で、安全かつ快適な、充実した毎日・・・。

そんな人々の願いに「サイクルアクセサリー」と「サイクルスポーツ」を通じて応えてきたのが、CATEYE です。自転車走行の「安全と快適」の向上を目指して開発された CATEYE のリフレクター、ランプ、サイクロコンピュータなどは、国内はもちろん世界的にも高い評価を受けています。

CATEYE はさらに、そのノウハウを生かし「健康」をテーマにフィットネス機器を開発し、企業活動をグローバルに展開しています。21 世紀の新しい時代の扉が開かれ、「自然と人類」の関係は「破壊から共生」の時代へと変化していくことを踏まえ、その時代の要請にマッチした製品の開発を CATEYE は目指したいと考えています。

その実現のためにも、南河内地域に高速道路整備が必要と考えています。

### 南河内に高規格道路のネットワーク化の実現を！ ～道路整備中期ビジョン策定に向けての意見～

#### はじめに

我が国は、戦後初めて人口が減少傾向を記録する等、歴史的転換期に立っています。今後、中長期的にも人口は減少すると共に、急速な高齢化も見込まれています。

このような少子高齢化の波に屈することなく、国際都市大阪を再生から成長へと導き、アジアの中の大阪の国際競争力の強化を図るためには、南河内地域の役割は大きく、地域の活力を将来に渡し、維持・向上させていくべきであり、それには、今後の道路政策の持つ意義は非常に大きいと考えられます。

このような背景から、真に道路政策のあり方について、南河内地域の活力向上の観点から、その構成を担う河南町の意見を述べさせていただきます。

#### テーマ

#### 『地域の活力向上のために必要な道路政策の展開』

#### 1. 転換期に立つ南河内地域の現状

##### (1) 人口推移

これまで、増加基調にあった人口も、少子化の進行や経済の低迷など諸要因のもとで沈静化し、このままでは中長期的には停滞も予想されるところです。平成12年度の国勢調査によると、河南町域内の人口は17,341人、世帯数6090世帯となっており、さくら坂住宅団地の開発による入居数の増加に伴い、人口伸び率は9.5%と府内市町村4位、人口密度も686.5人/km<sup>2</sup>と増加傾向にあります。

一方、総人口に占める 65 歳以上の割合（高齢化率）は、16.8%と府内市町村では、6 位と高い状況です。

こうした地域の人口・社会構造の変化に対応し、圏域の活力を維持・増進していくためには、圏域内外はもとより国際的にも視野に入れた多様な交流を促進する、「交流人口の拡大」という視野が必要不可欠です。

圏域固有の資源を生かし、圏域の活力を維持、増進していくためには、更なる高規格道路のネットワーク化のもとに、豊富な地域情報を圏域内外、そして海外に国際観光都市『おおさか』と共に発信していくことが重要と考えます。

## **（２）産業構造**

### **（就業構造）**

南河内圏域（以下「本圏域」という。）の就業構造を見ると、第一次産業は減少気味、第二次産業は微増傾向、第三次産業については、顕著な増加傾向を示しています。就業別では、以下のとおりです。

#### **①農林業**

本圏域では、優良な農地を背景に都市近郊農業は発達、府内有数の農業地帯を形成しています。特に国道 309 号の整備に伴い、多くの消費者のニーズに応える新しい営農形態を創出し、「グリーン・ツーリズム」と「市民農園（クラインガルテン）」等、都市近郊農業の地域特性を活かした政策の展開が求められています。そのためには、都市と農村の交流拡大、共生を図る取り組みが必要であり、南河内地域の高規格道路ネットワークの整備がその役割を担う方策として、最適であると考えます。

## ②商工業

本圏域の工業では、食肉、竹製品、すず製品、ワイン等の地場産業は盛んですが、近年、経済不況などの影響を受け、厳しい経営状況にあります。特に広域幹線道路沿いなどには、木材工業団地や中小企業団地の立地もれられるものの、停滞している状況にあります。

一方、商業では、広域幹線道路沿いに物流関連施設や大規模小売店舗が立地、新たな商業業務施設が進出しています。しかしながら、中心市街地では、空き店舗が増加し、いわゆる空洞化減少も見られる状況です。

このような状況から、地域産業の活性化を促すための知恵と工夫が必要であり、高規格道路の整備により、地域特有の実情やニーズに応じたビジネスチャンスが期待されるところです。

## 2. 地域の活力向上に向けた課題と方策

### (1) 観光資源のブランド化に向けた国際交流の促進

まちの至るところに古代・中世から引き継がれてきた近つ飛鳥風土記の丘等、大規模古墳群や神社仏閣等、歴史的建造物が現存しており、これらの歴史、文化、芸術、景観などの地域固有の資源を有効に活用させることが、観光振興には必要であり、その為にも観光交流促進を促す主体的かつ本格的な取り組みとして、高規格道路の整備が必要です。

### (2) 災害時の安全、安心の確保に向けた道路ネットワーク機能の向上

町内における道路は、通過交通と生活車両交通が混在し、特に、朝夕のラッシュ時には、数珠繋ぎの渋滞が発生している状況下にあります。

特に、町内道路は二車線道路が多く、災害に脆弱な側面有しており、切迫する南海東南海地震から地域を守るため、災害時救援物資輸送ルート  
の確保や災害拠点病院への定時高速サービスの確保を図る手立てとして、  
高規格道路の整備が必要です。

### **(3) 地域づくりの担い手の確保、２００７年問題に対応した道路整備**

２００７年からいわゆる団塊の世代の大量退職が始まることが見込まれています。

この世代が大量退職期を迎える「２００７年問題」であり、町内企業においても、その技術・技能の伝承が大きな課題として挙げられています。特に、農家の後継者や遊休農地の増加等、地域活動の担い手が不足しています。

地域経済を支える労働人口の確保、経済縮小による財政的制約に屈することなく、住民満足度を向上させる官民一体となった創意工夫による取り組みが必要です。それには、圏域に交流需要の増加を見込む必要があり、高速道路ネットワーク整備による地域間交流の促進が必要不可欠  
です。

### 3. その他、安全で快適な生活環境の創造に向けて必要な道路政策

高規格道路整備のネットワーク以外にも、以下の道路政策が必要です。

#### (1) 既存道路施設の長寿命化（適正な予防保全型維持管理の実施）

来るべき大量更新時期に備え、道路を常に健全な状態で管理し、エンドユーザーにとって高い水準で利用満足度の確保を行うことが道路管理者の責務であります。それには、道路施設を「適正な時期と維持管理水準」の下で維持管理、施設更新を行う予防保全型の戦略的維持管理が必要不可欠であり、それに必要な助成制度の充実をお願いします。

##### ○必要な事業

- ・道路防災点検、橋梁点検等、道路施設点検と点検体制、技術の確立
- ・道路維持管理におけるアセットマネジメント技術の拡充、周知
- ・自治体間の維持管理情報の共有（成功事例、失敗事例の共有）

#### (2) 歩行空間のバリアフリー化、沿道環境改善事業の推進

町内には、鉄道駅がなく自家用車や金剛バスが唯一の移動手段となっており、未来を担う子ども達の通学環境等、要対策箇所が多くあります。

地域交通の活性化を促進し、安全で快適な歩行空間の確保を図るためにも、関係市町村や府、公共交通事業者が一体となった地域総合交通戦略が必要です。そのためにも、次世代型路面電車システム（LRT）等の公共交通の導入促進、交通結節点の改善の他、自転車や歩行者の移動空間のバリアフリー化、沿道環境改善等の事業を総合的、面的に進めていく必要があります。

又、都市近郊の田園空間と道路空間が共生する恵まれた景観を有する

本町では、防災や景観、バリアフリーの観点から、既存道路施設の再配分を行い、安全で快適な道路空間を利用者に提供していく必要がありますので、それに必要な助成制度の充実をお願いします。

#### ○必要な事業

- ・ あんしん歩行エリアの取り組み（バス事業者との連携）
- ・ 総合交通戦略（L R Tの導入に向けた取り組み）
- ・ 自治体間の情報共有（成功事例、失敗事例の共有）

### **（３）その他、必要な政策等**

道路構造令改正に伴うローカルルールの設定や小型自動車を踏まえた基準類の条件緩和、「道路ルネッサンスの取り組み」等、国において種々の取り組みがなされていますが、地元市町村を含め、地域の実情や地域コミュニティのニーズに応じた道路整備を行う上で、重要な事項でありますので、今後ともご指導の程、よろしくお願いいたします。

## 【真に必要な道路政策（キーワード集）】

### （１） 高規格道路整備による国際観光交流促進、国際競争力強化

- ・ 関空到達 30 分圏域化
- ・ 大阪港（スーパー中枢港湾） 30 分圏域化
- ・ 災害拠点病院への定時高速サービスの確保

### （２） 災害時の安全、安心の確保【災害に強い街づくり】

- ・ 生活関連施設への安全で快適な移動ニーズの確保

（国道 371 号、国道 309 号など府県間道路の整備）

- ・ 総合的交通戦略、異なる交通事業者間の連携（LRT 導入など）
- ・ 総合的減災対策（山間部の災害防除ハード、ソフト施策の充実）
- ・ 交通事故対策（歩道整備、生活道路における通過交通排除策）

### （３） 歩行空間のバリアフリー化、沿道環境改善

- ・ 道路緑化等による地球温暖化対策
- ・ 沿道環境改善事業の推進（低騒音舗装等）
- ・ 歩道のバリアフリー化の推進（バリアフリー新法に基づく）

### （４） 既存ストックの長寿命化

- ・ 予防保全型維持管理、施設更新
- ・ 住民参加型美化活動等、府民協働の推進